

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生交付金事業検証シート

事業名	セーフコミュニティ活動を通じた地域創生事業	担当課名	危機管理課
交付金の種類	地方創生推進交付金		
まち・ひと・しごと総合戦略における位置づけ	NO	基本目標	
	4	セーフコミュニティの推進などにより、安全・安心な暮らしと快適な住環境をつくる。	
	NO	施策と取組内容	NO 施策と取組内容
	1	安全・安心に暮らせる環境をつくる	

【基本目標の数値目標】

指標	現状値	目標値	30年度実績値
防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合	H26:58.0%	H31:65.0%	H30:63.0%
地域の中で人のつながりがあると思う市民の割合	H26:59.9%	H31:65.0%	H30:63.5%
良好な住環境が整っていると感じる市民の割合	H26:70.8%	H31:75.0%	H30:73.1%

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市における安全・安心に関する状況を把握し、地域や行政などが一緒になって取り組むセーフコミュニティ(SC)活動を通じて、地域コミュニティの活性化や、より安全で安心して暮らすことのできるまちをめざす。
(事業概要等)	「多くの事故や犯罪、自殺などが原因となる死亡やけがは偶然の結果ではなく、予防できる。」との考えに基づき、安全・安心なまちをめざして、市民や地域団体、関係行政機関など分野の垣根を越えたSC推進体制を構築し、地域診断より明らかになった本市の重点分野(交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、自殺予防、犯罪防止、災害安全)において課題を設定、取組みを行うなど安全の向上を図る。

【事業費】

項目	H30決算額	H30地方創生交付金額	H31予算額	H31地方創生交付金額
金額(単位:千円)	2,956	1,161	3,159	
平成30年度事業費内訳(単位:千円)	費目			金額
	報償費(29)、旅費(268)			297
	需用費(1,205)			1,205
	委託料(1,272)			1,272
	使用料及び賃借料(112)			112
	負担金、補助及び交付金(70)			70

【事業の重要業績評価指標(KPI)】

重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値	30年度実績値
地域の中で人のつながりがあると思う市民の割合	H26:59.9%	H30:63.9%	H30:63.5%
防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合	H26:58.0%	H30:64.0%	H30:63.0%
犯罪が少なく安全なまちだと思う市民の割合	H26:70.1%	H30:74.1%	H30:79.5%

(成果の概要)

子どもの安全対策委員会で作成した「子ども安全マップ」は、地域の警察パトロールでも役立てられ、マップの改訂の際には、作成段階から警察も協力の意向が示されるなど、分野を越えた連携が見られた。
また、神奈川県厚木市で開催された「第9回アジア地域SC会議厚木大会」への参加や、大会に伴い海外のSC関係者を本市に招いて開催した活動視察を通じて、本市で展開している活動のほか、産業や歴史なども紹介し、市をアピールすることができた。

【今後の方向性】

課題(問題点)及び今後の方向性	SC活動は、地域の課題に応じた協働の取組みであることから、広く安全・安心のまちづくりを推進するために、分野別対策委員会で行っている具体的な取組み等の周知を図ることが課題である。 分野別対策委員会では、各分野での重点課題に対する取組みが行われているが、委員の交代等により活動の広がりが見られるものの、活動経緯や取組みに対して認識の差があるように感じられることから、今後はこれまでの活動も確認しながら進めていく必要がある。
-----------------	--

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生交付金事業検証シート

事業名	KIX泉州ツーリズムビューロー事業 【当初:(仮称)泉州観光DMO推進事業】	担当課名	政策推進課
交付金の種類	地方創生推進交付金		
まち・ひと・しごと 総合戦略におけ る位置づけ	NO	基本目標	
	2	地域資源を活用した取組となんでも近い泉大津市の強みを活かし、それらを積極的に情報発信することにより、様々な交流を生み出す。	
	NO	NO	施策と取組内容
	1	泉大津らしさを活かした交流を促す	

【基本目標の数値目標】

指標	現状値	目標値	30年度実績値
市外の人に自慢できる資源があると思う市民の割合	H26:27.1%	H31:35.0%	H30:32.6%

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域資源を本市単独で活用するのではなく、泉州地域の市町が連携し、一丸となって戦略の策定・推進や事業に取り組むことで、泉州地域への訪日旅行者数の増加を図り、ひいては本市への誘客につなげる。
(事業概要等)
「泉州」の認知度向上とさらなる誘客を図るため、一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローへ負担金を支出するとともに、連携調整会議へ出席し、より良い事業展開をめざし、積極的に意見や提案、要望などを行う。

【事業費】

項目	H30決算額	H30地方創生 交付金額	H31予算額	H31地方創生 交付金額
金額(単位:千円)	7,534	3,767	7,276	
平成30年度事業費内訳(単位:千円)	費目			金額
	負担金、補助及び交付金			7,534

【事業の重要業績評価指標(KPI)】

重要業績評価指標(KPI)	現状値	目標値	30年度実績値
各イベントの集客数(対象が市民限定のイベントを除く)	H25:55,800人	H30:56,350人	H30:66,500人

【成果の概要】

<p>専門人材が従事する組織の設立により、観光戦略を多様な関係者(民間事業者等)を巻き込んで進め、効果の高い取組事業への選択と集中を行い、観光振興の推進に寄与することができた。</p> <p>また、訪日外国人の誘客につながる取組みとして、現金以外での決済手段が必要と考え、キャッシュレス決済の推進を提案したところ、KIX泉州国際マラソン(本交付金の対象事業ではない)において試験導入に至った。</p>
--

【今後の方向性】

課題(問題点)及び今後の方向性	泉州地域が一丸となった誘客に取り組む必要があることから、KIX泉州ツーリズムビューローへ適切に働きかけを行うとともに良好な協力体制を維持していく。その一方で、広域連携での観光振興を主軸とするなかでも、本市へのさらなる誘客に向けて、地域資源の発掘に取り組んでいく。
-----------------	---